

SRC 自主調査の調査結果について

大雪による予防的通行止めに関する調査(第二弾)

趣旨

- 2025年3月4日(火)～5日(水)にかけ、関東地方での大雪による立往生などのおそれがあったため、高速道路や国道において予防的通行止めが実施されました。首都圏での予防的通行止めは、2024年2月5日(月)以来の実施であり、その際当社では、予防的通行止めの認知経路、行動変容、施策評価について、インターネットパネルを用いてアンケートを実施いたしました。
※前回の調査結果(概要版) <https://www.surece.co.jp/research/4762/>
- そこで今回は、予防的通行止めの認知経路、行動変容、施策評価について、前回と比較しどのような変化が生じているかを調べるため、インターネットパネルを用いて再度アンケートを実施いたしました。

調査結果のポイント

- 今回の『予防的通行止め』は、実施当日午前11時の緊急発表
- 実際の積雪が 予報よりも少なく、かつ夜間が中心

①予防的通行止めに対する評価

- ✓ 今回の『予防的通行止め』の周知が、当日午前11時の緊急発表、また実際の積雪が予報よりも少なく、かつ夜間であったが、『予防的通行止め』を“評価できる”・“納得できる”と回答した割合は、前回同様に約9割であり、広く理解を得られている。
- ✓ 積雪予報における『予防的通行止め』の実施判断について、“積雪5cm以上”と回答した割合は45.0%で、前回(50.3%)と比較し5.3ポイント減少した。
- ✓ 雪道運転の危険性、『予防的通行止め』の重要性について、前回以上に理解が得られている。

②予防的通行止めの認知経路

- ✓ 『予防的通行止め』について知った情報源は、前回と同様にテレビが(69.2%)、Webニュース(34.6%)、ラジオ(12.0%)の順であった。
- ✓ 雪予報を“前日までに知っていた”割合は88.4%で、前回(77.6%)と比較し10.8ポイント増加した。
- ✓ 『予防的通行止め』について、“実施前に知っていた”割合は56.8%で、前回(48.0%)と比較し8.8ポイント増加した。

③予防的通行止めを受けての行動変容

『予防的通行止め』実施時の動きについて

- ✓ “行き時間”を“早くした”割合は27.7%で、前回(36.7%)と比較し9.0ポイント減少した。
- ✓ “帰りの時間”を“早くした”割合は15.0%で、前回(22.4%)と比較し7.4ポイント減少した。
- ✓ 上記含め、“移動した”割合は80.6%で前回(73.5%)と比較し7.1ポイント増加した。
- ✓ “行きの経路”を変更した割合は7.1%で、前回(13.7%)と比較し6.6ポイント減少した。
- ✓ “帰りの経路”を変更した割合は7.9%で、前回(16.3%)と比較し8.4ポイント減少した。

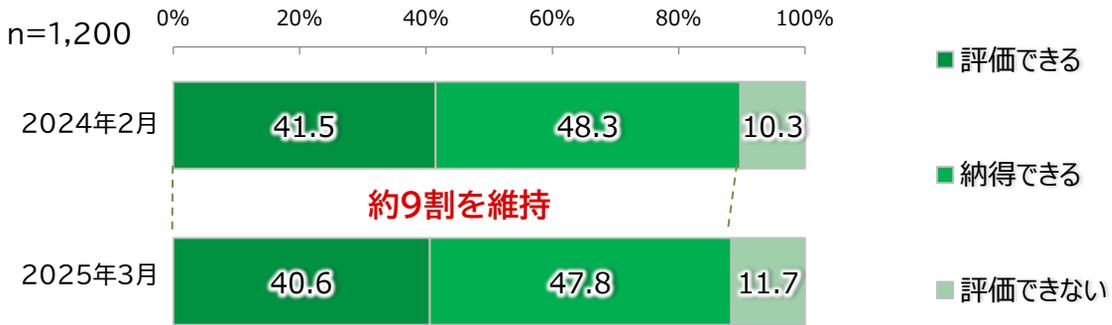
調査概要

| | |
|---------|---|
| 調査方法 | インターネット調査パネルによるWEB調査 |
| 調査対象者 | ・1都8県(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・栃木県・群馬県・茨城県・山梨県・長野県)在住 ・18-85歳 男女 ・日常的に車を運転する方 |
| サンプルサイズ | 1,200件 |
| 調査実施期間 | 2025年3月5日(水)～2025年3月7日(金) |

1. 予防的通行止めに対する評価

●今回の『予防的通行止め』の周知が、当日午前11時の緊急発表、また実際の積雪が予報よりも少なく、かつ夜間であったが、『予防的通行止め』を“評価できる”・“納得できる”と回答した割合は、前回同様に約9割であり、広く理解を得られている。

Q 『予防的通行止め』の評価 SA



| | 2024年2月 | 2025年3月 | 比較 |
|--------|---------|---------|------|
| n | 1200 | 1200 | - |
| 全体 | 100.0 | 100.0 | - |
| 評価できる | 41.5 | 40.6 | -0.9 |
| 納得できる | 48.3 | 47.8 | -0.5 |
| 評価できない | 10.3 | 11.7 | 1.4 |

◆評価項目別(n=1,200) ※上段:2024年2月 下段:2025年3月

◇周知方法の分かりやすさ(放送や掲載内容等)



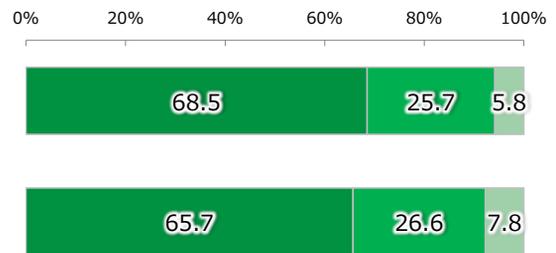
◇周知期間(告知・案内の早さ)



◇通行止め範囲



◇予防的に通行止めすること

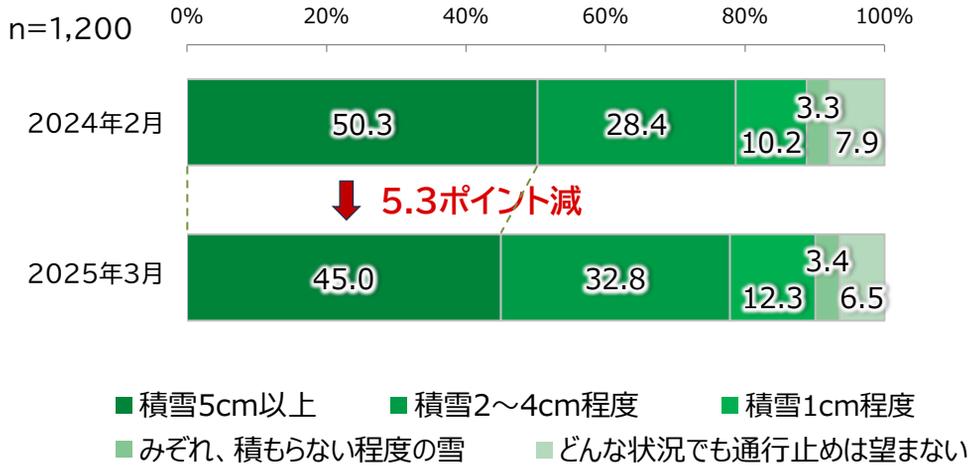


■ 妥当・十分だと思う ■ どちらともいえない ■ やや不適切・不適切だと思う

1. 予防的通行止めに対する評価

- 積雪予報における『予防的通行止め』の実施判断について、“積雪5cm以上”と回答した割合は45.0%で、前回(50.3%)と比較し5.3ポイント減少した。
- 雪道運転の危険性、『予防的通行止め』の重要性について、**前回以上に理解が得られている。**

Q 『予防的通行止め』について、“積雪予報”がどの程度であれば実施すべきか SA

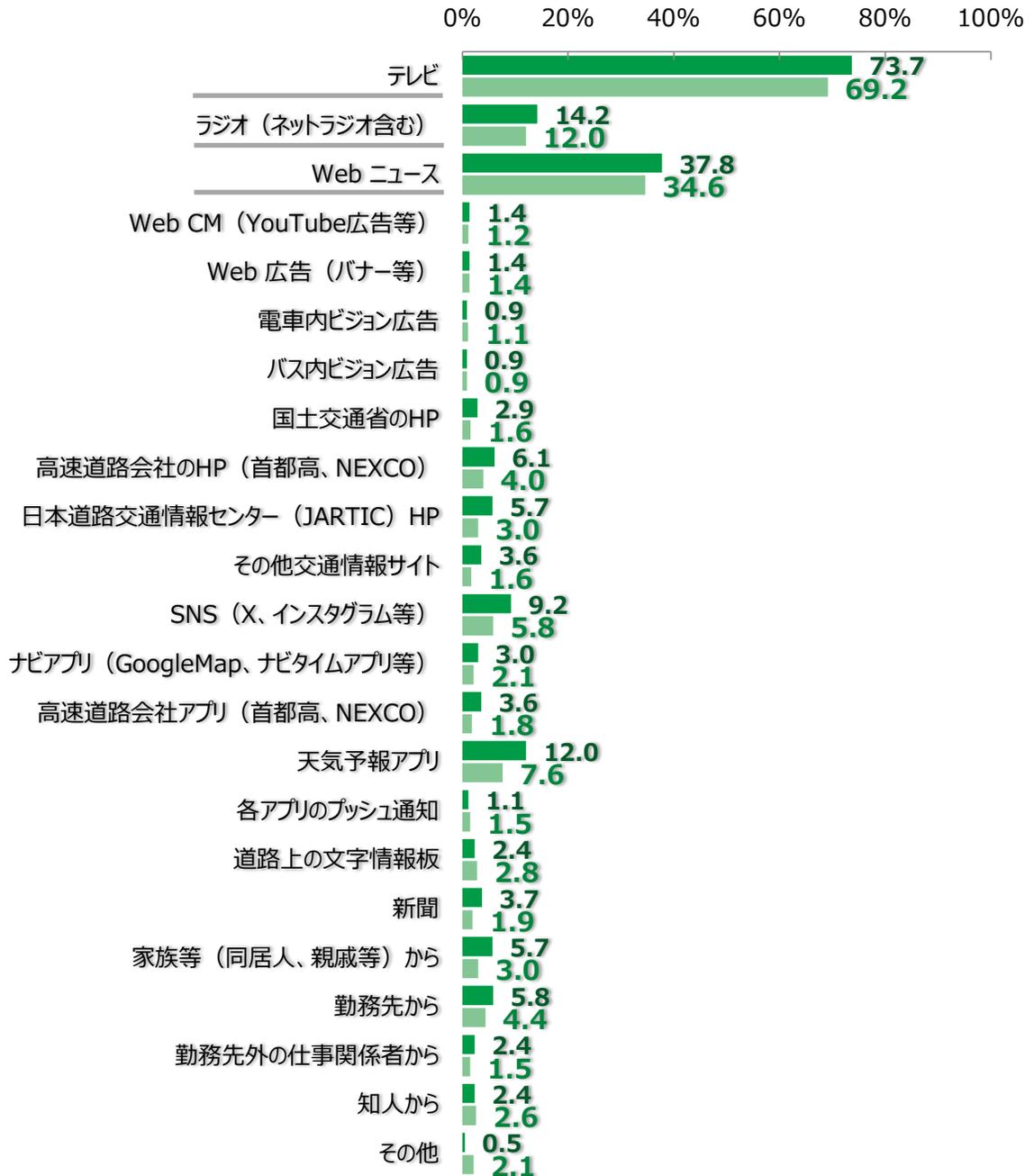


| | 2024年2月 | 2025年3月 | 比較 |
|------------------|---------|---------|------|
| n | 1200 | 1200 | 1200 |
| 全体 | 100.0 | 100.0 | - |
| 積雪5cm以上 | 50.3 | 45.0 | -5.3 |
| 積雪2~4cm程度 | 28.4 | 32.8 | 4.4 |
| 積雪1cm程度 | 10.2 | 12.3 | 2.1 |
| みぞれ、積もらない程度の雪 | 3.2 | 3.4 | 0.2 |
| どんな状況でも通行止めは望まない | 7.9 | 6.5 | -1.4 |

2. 予防的通行止めの認知経路

●『予防的通行止め』について知った情報源は、前回と同様にテレビが(69.2%)、Webニュース(34.6%)、ラジオ(12.0%)の順であった。

Q 『予防的通行止め』について知った情報源 MA



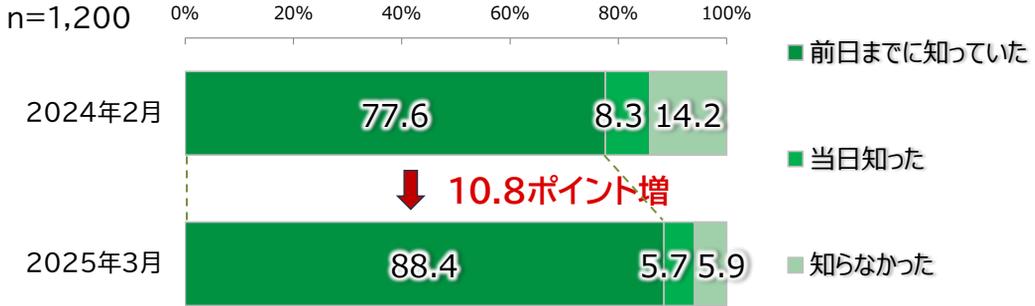
前回(2024年2月) n=805

今回(2025年3月) n=1,031

2. 予防的通行止めの認知経路

- 雪予報について、“前日までに知っていた”割合は88.4%で、前回(77.6%)と比較して**10.8ポイント増加**した。
- 年代別では、60代以上の割合が94.6%で最も大きく、20代以下の割合が78.3%で最も小さかった。

Q 先日の雪予報について事前に知っていたか SA



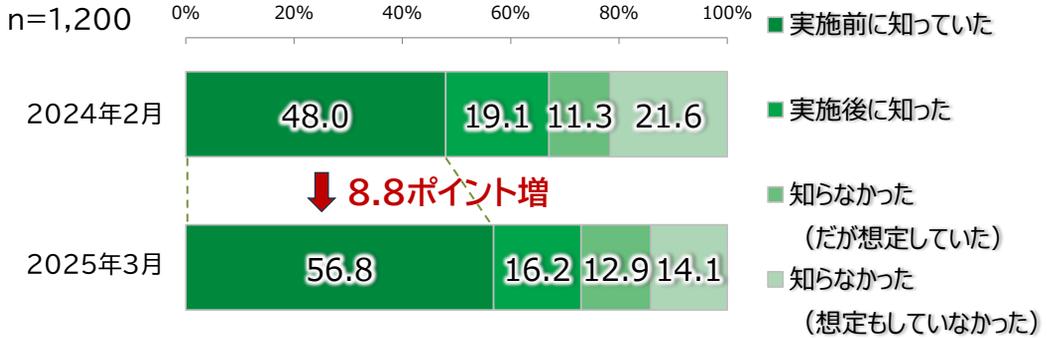
| | n | 2024年2月 | | | 2025年3月 | | | 比較 | | | |
|----|-------|------------|-------|--------|------------|-------------|--------|-------------|-------|--------|-------|
| | | 前日までに知っていた | 当日知った | 知らなかった | 前日までに知っていた | 当日知った | 知らなかった | 前日までに知っていた | 当日知った | 知らなかった | |
| 全体 | 1200 | 77.6 | 8.3 | 14.2 | 88.4 | 5.7 | 5.9 | 10.8 | -2.6 | -8.3 | |
| 年代 | 20代以下 | 240 | 64.6 | 13.8 | 21.7 | 78.3 | 10.4 | 11.3 | 13.8 | -3.3 | -10.4 |
| | 30代 | 240 | 74.2 | 9.2 | 16.7 | 81.7 | 7.9 | 10.4 | 7.5 | -1.3 | -6.3 |
| | 40代 | 240 | 79.6 | 6.3 | 14.2 | 92.5 | 4.2 | 3.3 | 12.9 | -2.1 | -10.8 |
| | 50代 | 240 | 83.8 | 6.7 | 9.6 | 95.0 | 3.3 | 1.7 | 11.3 | -3.3 | -7.9 |
| | 60代以上 | 240 | 85.8 | 5.4 | 8.8 | 94.6 | 2.5 | 2.9 | 8.8 | -2.9 | -5.8 |

2. 予防的通行止めの認知経路

- 『予防的通行止め』について、“実施前に知っていた”割合は56.8%で、前回(48.0%)と比較して**8.8ポイント増加**した。
- 年代別では、60代以上の割合が74.2%で最も大きく、20代以下の割合が40.8%で最も小さかった。

※今回の『予防的通行止め』が当日午前11時の“緊急発表”であったが、前回以上に周知の効果があった。

Q 先日の『予防的通行止め』について事前知っていたか SA



| | n | 2024年2月 | | | | 2025年3月 | | | | 比較 | | | | |
|----|-------|-----------|---------|-------------------|---------------------|-----------|---------|-------------------|---------------------|-----------|---------|-------------------|---------------------|-------|
| | | 実施前に知っていた | 実施後に知った | 知らなかった (だが想定していた) | 知らなかった (想定もしていなかった) | 実施前に知っていた | 実施後に知った | 知らなかった (だが想定していた) | 知らなかった (想定もしていなかった) | 実施前に知っていた | 実施後に知った | 知らなかった (だが想定していた) | 知らなかった (想定もしていなかった) | |
| 全体 | 1200 | 48.0 | 19.1 | 11.3 | 21.6 | 56.8 | 16.2 | 12.9 | 14.1 | 8.8 | -2.9 | 1.6 | -7.5 | |
| 年代 | 20代以下 | 240 | 33.8 | 21.3 | 12.9 | 32.1 | 40.8 | 17.9 | 17.1 | 24.2 | 7.1 | -3.3 | 4.2 | -7.9 |
| | 30代 | 240 | 49.2 | 15.8 | 11.7 | 23.3 | 42.1 | 16.7 | 17.5 | 23.8 | -7.1 | 0.8 | 5.8 | 0.4 |
| | 40代 | 240 | 42.5 | 17.5 | 13.8 | 26.3 | 55.8 | 17.9 | 13.8 | 12.5 | 13.3 | 0.4 | 0.0 | -13.8 |
| | 50代 | 240 | 57.9 | 18.8 | 7.9 | 15.4 | 71.3 | 14.2 | 9.6 | 5.0 | 13.3 | -4.6 | 1.7 | -10.4 |
| | 60代以上 | 240 | 56.7 | 22.1 | 10.4 | 10.8 | 74.2 | 14.2 | 6.7 | 5.0 | 17.5 | -7.9 | -3.8 | -5.8 |

3. 予防的通行止めを受けての行動変容

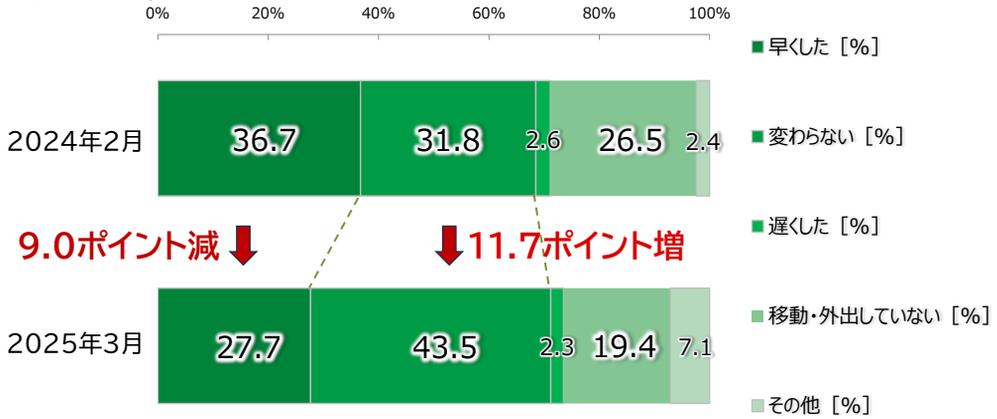
『予防的通行止め』の実施時に、いつもと比較した“移動時間の変化”、外出の有無について聞いたところ、以下の結果を得られた。

- “行き”の時間を早くした割合は27.7%で、前回(36.7%)と比較し9.0ポイント減少した。
- “帰り”の時間を早くした割合は15.0%で、前回(22.4%)と比較し7.4ポイント減少した。
- “行き”の時間を変更しなかった割合は43.5%で、前回(31.8%)と比較し11.7ポイント増加した。
- “帰り”の時間を変更しなかった割合は56.1%で、前回(44.9%)と比較し11.2ポイント増加した。

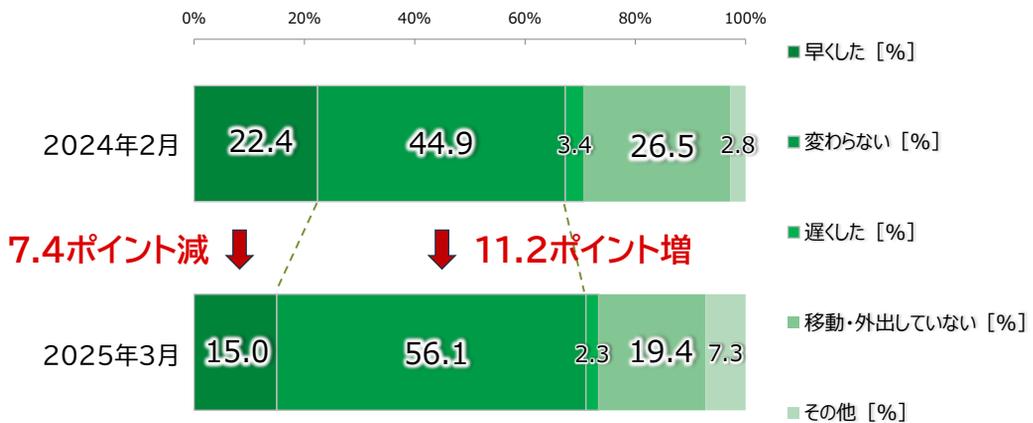
※今回の『予防的通行止め』が当日午前11時の“緊急発表”であったこと、実際の積雪が“予報よりも少なく”、かつ“夜間”であったことが主な要因として考えられる。

Q いつもと比較した行動の変化【通勤・通学、その他外出時の“時間”について】 SA

◆行きの時間(n=1,200)



◆帰りの時間(n=1,200)



| | 1. 行きの時間 | | | 2. 帰りの時間 | | |
|------------|----------|---------|------|----------|---------|------|
| | 2024年2月 | 2025年3月 | 比較 | 2024年2月 | 2025年3月 | 比較 |
| n | 1200 | 1200 | - | 1200 | 1200 | - |
| 早めた | 36.7 | 27.7 | -9.0 | 22.4 | 15.0 | -7.4 |
| 変わらない | 31.8 | 43.5 | 11.7 | 44.9 | 56.1 | 11.2 |
| 遅めた | 2.6 | 2.3 | -0.3 | 3.4 | 2.3 | -1.1 |
| 移動・外出していない | 26.5 | 19.4 | -7.1 | 26.5 | 19.4 | -7.1 |
| その他 | 2.4 | 7.1 | 4.7 | 2.8 | 7.3 | 4.5 |

3. 予防的通行止めを受けての行動変容

『予防的通行止め』の実施時に外出をした968名(全体の80.6%)を対象に、“移動経路の変化”について聞いたところ、以下の結果を得られた。

- “行き”の経路”を変更した割合は7.1%で、前回(13.7%)と比較し**6.6ポイント減少**した。
- “帰りの経路”を変更した割合は7.9%で、前回(16.3%)と比較し**8.4ポイント減少**した。
- “行き”の経路”を変更しなかった割合は90.3%で、前回(83.9%)と比較し**6.4ポイント増加**した。
- “帰りの経路”を変更しなかった割合は89.7%で、前回(81.0%)と比較し**8.7ポイント増加**した。

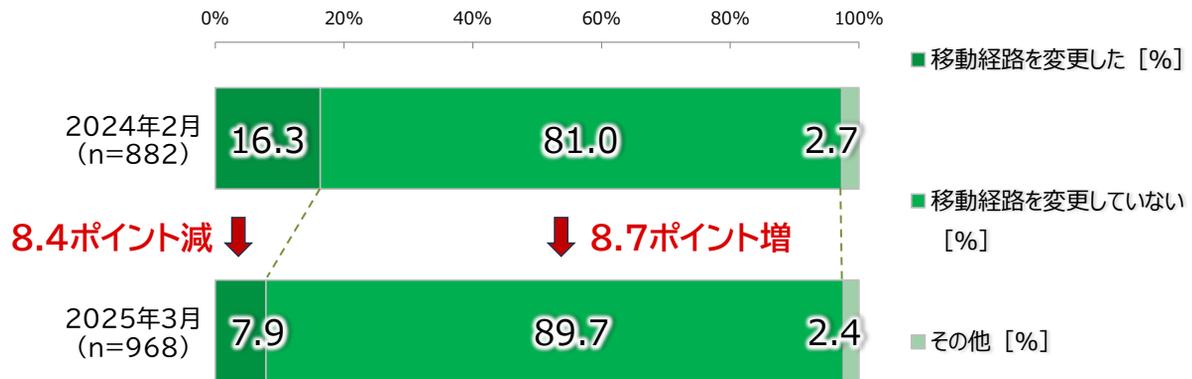
※今回の『予防的通行止め』が当日午前11時の“緊急発表”であったこと、実際の積雪が“予報よりも少なく”、かつ“夜間”であったことが主な要因として考えられる。

Q いつもと比較した行動の変化【通勤・通学、その他外出時の“経路”について】 SA

◆行きの経路



◆帰りの経路



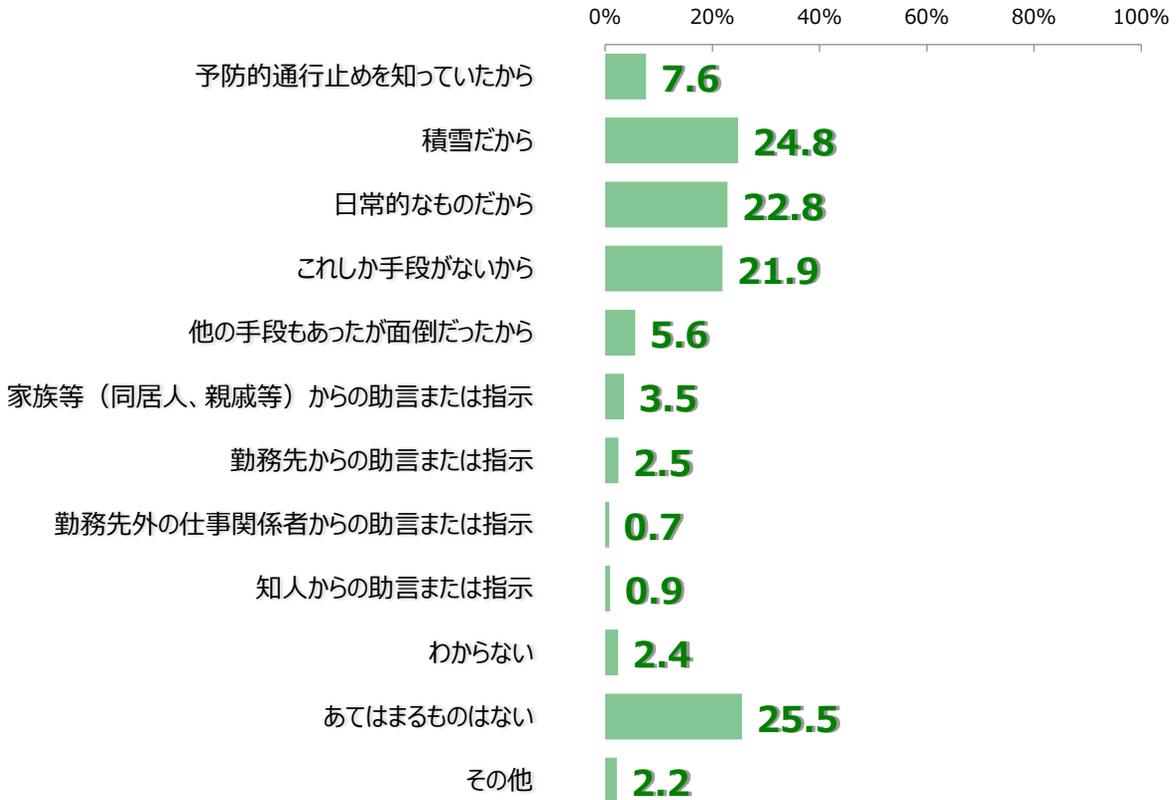
| | 1. 行きの経路 | | | 2. 帰りの経路 | | |
|--------------|----------|---------|-------------|----------|---------|-------------|
| | 2024年2月 | 2025年3月 | 比較 | 2024年2月 | 2025年3月 | 比較 |
| n | 882 | 968 | - | 882 | 968 | - |
| 移動経路を変更した | 13.7 | 7.1 | -6.6 | 16.3 | 7.9 | -8.4 |
| 移動経路を変更していない | 83.9 | 90.3 | 6.4 | 81.0 | 89.7 | 8.7 |
| その他 | 2.4 | 2.6 | 0.2 | 2.7 | 2.4 | -0.3 |

3. 予防的通行止めを受けての行動変容

『予防的通行止め』の実施時に外出をした968名(全体の80.6%)を対象に、移動時間・経路などの“行動変容の理由”について聞いたところ、“積雪だから”と回答した割合は24.8%、“日常的なものだから”と回答した割合が22.8%、“これしか手段がないから”と回答した割合が21.9%であった。

※今回の『予防的通行止め』が当日午前11時の“緊急発表”であったこと、実際の積雪が“予報よりも少なく”、かつ“夜間”であったことが主な要因として考えられる。

Q いつもと比較した行動変容の理由 MA



今回(2025年3月) n=968

| | |
|--------|---|
| ● 会社名 | 株式会社サーベイリサーチセンター |
| ● 所在地 | 東京都荒川区西日暮里2丁目40番10号 |
| ● 設立 | 1975(昭和50)年2月 |
| ● 資本金 | 6,000万円 |
| ● 年商 | 102億円(2023年度) |
| ● 代表者 | 代表取締役 藤澤 士朗、長尾 健、石川 俊之 |
| ● 社員数 | 社員:350名 契約スタッフ:465名(2024年7月1日現在) |
| ● 事業所 | 国内15拠点 (東京本社(西日暮里)、東京支社(水道橋)、札幌、盛岡、仙台、新潟、静岡、名古屋、大阪、岡山、広島、高松、福岡、熊本、那覇) |
| ● 主要事業 | 世論調査・行政計画策定支援、都市・交通計画調査、マーケティング・リサーチ |
| ● 所属団体 | 公益財団法人 日本世論調査協会 一般社団法人 日本マーケティング・リサーチ協会(JMRA) 一般社団法人 交通工学研究会 日本災害情報学会 公益社団法人 日本観光振興協会 ESOMAR(ヨーロッパ世論・市場調査協会) 他 |
| ● その他 | ISO9001認証取得(2000年6月) プライバシーマーク付与認定(2000年12月) ISO20252認証取得(2010年10月) ISO27001認証取得(2015年11月)※ えるぼし(2018年) くるみん新制度(2023年)／旧制度(2013年) ※認証区分及び認証範囲: ・MR部及びGMR部が実施するインターネットリサーチサービスの企画及び提供 ・全国ネットワーク部及び沖縄事務所が実施する世論・市場調査サービスの企画及び提供 |

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社サーベイリサーチセンター <https://www.surece.co.jp/>

- 広報担当:品質部 松下 正人 E-mail:src_support@surece.co.jp
TEL:03-5990-9298
- 調査担当:調査部 インフラリサーチ課 小菅 E-mail:kosuge_m@surece.co.jp
TEL:03-5990-9315
- 調査結果の引用にあたっては、調査主体名として「株式会社サーベイリサーチセンター(東京都)」を必ず明記して利用してください。
- 調査結果の無断転載・複製を禁じます。
- 本紙に記載している情報は、発表日時点のものです。